



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 株式会社杉村倉庫 上場取引所 東  
 コード番号 9307 URL <http://www.sugimura-wh.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 柴山 恒晴  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 安西 史朗 (TEL) 06-6571-1221  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,180	2.4	631	7.4	578	13.1	214	△0.4
25年3月期第3四半期	7,014	△0.0	588	△0.3	511	△3.3	215	△24.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 294百万円(50.2%) 25年3月期第3四半期 195百万円(△20.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	13.54	—
25年3月期第3四半期	13.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,585	8,789	44.8
25年3月期	17,999	8,590	47.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,781百万円 25年3月期 8,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,565	2.1	813	5.0	728	3.1	318	△4.2	20.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	15,876,010株	25年3月期	15,876,010株
26年3月期3Q	63,382株	25年3月期	60,799株
26年3月期3Q	15,814,054株	25年3月期3Q	15,815,212株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策による期待感や米国経済の回復基調などから景況感が上向きつつあります。しかし、その一方で消費増税による消費マインドの低下や先進国の債務問題、新興国の成長の減速などの不安材料も抱えており、先行きに不透明感が強まる状況で推移しております。

このような環境の下、当社グループとしましては、様々な顧客ニーズに柔軟に対応できるよう積極的な営業活動を行ってまいりました。また、業務品質の向上を図るために前連結会計年度から引き続き、既存設備の改修・整備に加え新規施設設備の拡充のための計画・立案に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は、71億8千万円となり、前年同四半期に比べ1億6千5百万円（2.4%）の増収となりました。営業原価は59億5千5百万円となり、前年同四半期に比べ1億2千1百万円（2.1%）増加しました。販売費及び一般管理費は5億9千3百万円となり、ほぼ前年同四半期並みになった結果、営業利益は6億3千1百万円となり、前年同四半期に比べ4千3百万円（7.4%）の増益となりました。営業外収益においては受取配当金が増加し、営業外費用において支払利息が減少しましたので、経常利益は5億7千8百万円となって、前年同四半期に比べ6千6百万円（13.1%）の増益となりました。しかし、倉庫建替えに係る解体費用等を減損損失として特別損失に計上しましたので、当四半期純利益は2億1千4百万円となり、前年同四半期とほぼ同水準の結果となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### (倉庫業)

当第3四半期連結累計期間は、前年同四半期に比べ米やワイン原料、オートバイなどの保管料収入が増加しました。また、電機部品や加工食料品などの荷役荷捌料収入や運送手配料収入が増加しました。この結果、外部顧客に対する営業収益は、37億7千9百万円となり、前年同四半期に比べ1億5千9百万円（4.4%）の増収となりました。コスト面では荷役荷捌費や運送費、人件費や動力光熱費、租税公課などが増加しましたが、前年同四半期に比べ6百万円（22.1%）損失額が減少し、2千3百万円のセグメント損失となりました。

#### (運送業)

機械配送やリネンサプライの配送業務などの取扱は堅調に推移しましたが、運送の付帯業務として行っている加工作業が減少しました。また、一部の低採算であった運送業務の見直しを図り契約解除に至ったため、営業収益は24億9千9百万円となり、前年同四半期に比べ2千3百万円（0.9%）の減収となりました。しかし、荷捌費や運送費、販売費及び一般管理費が減少して、前年同四半期に比べ5千8百万円（67.9%）の増益となり、1億4千5百万円のセグメント利益となりました。

#### (不動産賃貸業)

一部のテナントとの契約切れや料金の改定などの影響もありましたが、昨年12月と今年5月の新規の賃貸物件2棟の稼働もあり、外部顧客に対する営業収益は7億3千万円となって、前年同四半期に比べ1千1百万円（1.6%）の増収となりました。しかし、コスト面では減価償却費等が増加したため、前年同四半期に比べ1千6百万円（3.3%）の減益となり、4億8千9百万円のセグメント利益となりました。

#### (その他の事業)

ゴルフ練習場は、前年同四半期は改修工事により当四半期に比べ稼働日数が少なかったため、営業収益は1億5千5百万円となり、2百万円（1.4%）の増収となりました。しかし、コスト面では減価償却費や人件費、業務委託費等が増加しました。

売電事業は、6月より太陽光発電設備が大阪市の福崎倉庫屋上にて新規稼働をはじめたのに加え、12月末竣工の新築倉庫屋上に2機目が完成しました。営業収益は1千5百万円となり、減価償却費を含めた諸費用が1千2百万円発生しました。

以上により、その他の事業の営業収益は1億7千1百万円となり、前年同四半期に比べ1千8百万円（11.8%）の増収となりました。セグメント利益は2千万円となり、前年同四半期に比べ5百万円（20.8%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億8千6百万円増加し、195億8千5百万円となりました。これは、リース投資資産の増加により流動資産が14億4千3百万円増加したことなどによります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億8千6百万円増加し、107億9千5百万円となりました。これは、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が6億2百万円増加したことや固定負債の長期借入金が増加したなどによります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億9千9百万円増加し、87億8千9百万円となりました。これは、利益剰余金が1億1千9百万円、その他有価証券評価差額金が7千9百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年10月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,192,742	1,376,844
受取手形及び売掛金	985,590	915,605
リース投資資産(純額)	124,670	1,591,175
有価証券	927,973	821,672
繰延税金資産	99,732	58,217
未収消費税等	18,302	58,349
その他	122,950	93,259
貸倒引当金	△5,101	△5,061
流動資産合計	3,466,861	4,910,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,375,082	6,114,701
機械装置及び運搬具(純額)	268,048	586,758
工具、器具及び備品(純額)	71,470	67,051
土地	4,913,971	4,913,971
リース資産(純額)	21,368	11,689
建設仮勘定	44,002	5,000
有形固定資産合計	11,693,944	11,699,172
無形固定資産		
借地権	295,290	295,290
その他	15,045	14,058
無形固定資産合計	310,335	309,348
投資その他の資産		
投資有価証券	2,143,497	2,268,567
繰延税金資産	87,321	86,296
その他	318,627	333,450
貸倒引当金	△21,387	△21,387
投資その他の資産合計	2,528,059	2,666,927
固定資産合計	14,532,338	14,675,448
資産合計	17,999,200	19,585,511
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,481	309,996
1年内返済予定の長期借入金	2,240,012	2,842,512
未払金	9,204	208,039
リース債務	13,551	9,612
未払法人税等	130,860	97,260
未払消費税等	21,641	19,445
賞与引当金	152,378	76,750
未払費用	230,612	239,413
その他	127,130	173,989
流動負債合計	3,280,872	3,977,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	4,753,694	5,429,360
長期預り金	236,400	244,116
リース債務	8,885	2,661
繰延税金負債	246,873	214,726
退職給付引当金	501,687	525,306
役員退職慰労引当金	148,495	170,325
資産除去債務	32,051	32,351
固定負債合計	6,128,086	6,818,848
負債合計	9,408,959	10,795,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,539,731	2,539,731
資本剰余金	2,314,681	2,314,681
利益剰余金	3,278,873	3,398,091
自己株式	△16,185	△16,848
株主資本合計	8,117,100	8,235,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465,791	545,774
その他の包括利益累計額合計	465,791	545,774
新株予約権	7,350	8,214
純資産合計	8,590,241	8,789,644
負債純資産合計	17,999,200	19,585,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	7,014,236	7,180,193
営業原価	5,833,415	5,955,233
営業総利益	1,180,821	1,224,959
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	317,274	338,355
その他	275,342	254,780
販売費及び一般管理費合計	592,617	593,135
営業利益	588,203	631,824
営業外収益		
受取利息	901	698
受取配当金	29,067	36,366
社宅使用料	16,699	17,379
持分法による投資利益	2,546	299
その他	12,586	18,378
営業外収益合計	61,802	73,121
営業外費用		
支払利息	113,982	106,975
その他	24,791	19,941
営業外費用合計	138,773	126,917
経常利益	511,231	578,028
特別損失		
固定資産処分損	46,583	—
ゴルフ会員権評価損	16,000	—
減損損失	56,588	186,372
特別損失合計	119,171	186,372
税金等調整前四半期純利益	392,060	391,655
法人税、住民税及び事業税	155,025	215,012
法人税等調整額	21,951	△37,493
法人税等合計	176,976	177,519
少数株主損益調整前四半期純利益	215,083	214,136
少数株主利益	—	—
四半期純利益	215,083	214,136



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	215,083	214,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,771	79,929
持分法適用会社に対する持分相当額	477	54
その他の包括利益合計	△19,294	79,983
四半期包括利益	195,789	294,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,789	294,120
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	倉庫業	運送業	不動産 賃貸業	その他の 事業	計		
営業収益							
外部顧客に対する営業 収益	3,619,205	2,523,494	718,584	152,951	7,014,236	—	7,014,236
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	33,264	1,151,298	125,434	34,924	1,344,920	△1,344,920	—
計	3,652,469	3,674,792	844,018	187,876	8,359,157	△1,344,920	7,014,236
セグメント利益又は損失 (△)	△30,733	86,814	506,525	25,597	588,203	—	588,203

(注)1 調整額1,344,920千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益に一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「不動産賃貸業」セグメントにおいて、一部倉庫設備の建替えに伴い、除却した固定資産については帳簿価額を全額減額とし、当該減少額と既存建物等の解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において56,588千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	倉庫業	運送業	不動産 賃貸業	その他の 事業(注)3	計		
営業収益							
外部顧客に対する営業 収益	3,779,059	2,499,972	730,143	171,017	7,180,193	—	7,180,193
セグメント間の内部営 業収益又は振替高	39,436	1,151,357	125,128	34,924	1,350,847	△1,350,847	—
計	3,818,495	3,651,330	855,271	205,942	8,531,040	△1,350,847	7,180,193
セグメント利益又は損失 (△)	△23,928	145,782	489,700	20,269	631,824	—	631,824

(注)1 調整額1,350,847千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益に一致しております。

3 第1四半期連結累計期間から当社において、新たに売電事業を開始しており、「その他の事業」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「不動産賃貸業」セグメントにおいて、一部倉庫設備の建替えの計画案が決定されたことに伴い、除却する固定資産については帳簿価額を全額減額とし、当該減少額と既存建物等の解体費用を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において186,372千円であります。